[情報基盤センター演習室Ｃ　AV システム取扱説明書]

使用にあたっては、下記手順によって行います。

(1)「キースイッチ；コネクターパネル」右のキ - スイッチにキーを差しこみ、右に回すとシステムが起動し、音声系統が使用可能となります。キースイッチは右に回した状態では抜けません。有線マイクを使用する時は、右下のドアを開け、オーディオミキサーのフロントパネルのマイク入力にマイクのプラグを差しこみ、表示されたボリュームで音量を調整します。

(2)ビデオプロジェクターを使用する時は、プロジェクターの ON スイッチを押して下さい。約 30 秒程度で、画像の投射が可能となります。

(3)スクリーンの昇降は手動となります。最も低い位置まで下げますとロックします。

(4)AV スイッチャ - のソース選択スイッチで投影するメディアを選択します。このシステムでは下記のメディアが投影可能です。

◎　常設パソコン　（設備に常設されております。）

◎　増設パソコン（キースイッチ；コネクターパネルに予め接続します。）

◎　ＯＨＣ（書画カメラ）（設備に常設されております。）

◎　ビデオ（設備に常設されております。システム起動後、右下のドアを開け、ビデオデッキ本体の電源スイッチを入れ、テープを挿入します。操作は本体及びリモコンで行って下さい。）

◎　外部入力（キースイッチ；コネクターパネルに予め接続します。）

※スイッチで選択したソースの画面が出ない場合は、一度他のソースを選び、再度スイッチを確実に押し直して下さい。

※このシステムのビデオプロジェクターは、解像度 1024×768 ドット（XGA）までリニア対応し、それ以上の解像度のソース（SXGA、UXGA など）は圧縮対応となります。

※DVD,ビデオ、外部入力などビデオ信号は、通常日本で使用されている NT-SC 規格により記録されたものの他、欧州系の PAL 規格によるものにも自動対応致します。

※常設と増設のパソコン,ビデオ、外部入力の音量は、オーディオミキサーの各々表示されたボリュームで調整可能です。
パソコンの音声を出す時は、パソコン自体の音量調整も行って下さい。

終了にあたっては、下記手順によって行います。

(1) ビデオテープを使用した場合はテープを取り出します。

(2) スクリーンを手動で巻き上げます。

(3) キースイッチを左に回してシステムを OFF にしますと、終了完了です。
※(1)の作業は、システム終了後は出来なくなりますので、御注意下さい。
※プロジェクターの電源は、キースイッチを OFF にすると自動的に切れますので、
プロジェクターOFF スイッチを押す必要はありません。

リンク授業に関して

※演習室 B とのリンク授業で、演習室 C で行う準備としてはスクリーンを予め下げておく作業だけとなります。

※ リンク授業時、有線マイクをオーディオミキサーに接続すれば、演習室 B と（3 教室一斉の場合は演習室 A とも）マイク音声の相互交信が可能です。

※ リンク授業時は演習室 C の AV スイッチャ - の電源は入りませんので、入力切換え等の操作は出来ません。